

取扱説明書

旅ぐるまシリーズ AY7



● 目次 ●

製品の特徴・使用目的	1
安全に関するご注意	2
1.同梱部品の確認	9
2.安全ラベル	9
3.各部名称	10
4.お使いになる前に	11
5.操作方法および使用方法	13
6.押手の回転方法および固定方法	17
7.ブレーキの取扱い方法	18
8.シートベルトの取扱い方法	19
9.ご利用時の注意事項	19
10.段差乗り越え方法	20
11.車いすの主な乗り方	21
12.お手入れの方法	23
13.保管についてお願い	23
14.車いすの保守・点検	24
15.仕様	26
16.製品記録	27
17.保証	28

このたびはカワムラサイクルの車いすをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、商品を安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法
が記載されています。

取扱説明書は適宜更新しております。最新版を弊社ホームページからダウンロードして
いただけます (<https://www.kawamura-cycle.co.jp>)。

※ご使用になる前に必ずお読みください。また、ご使用の際には必ず携帯していただき、
必要となしにいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

カワムラサイクル

[製品の特徴・使用目的]

この製品は、手動式車いすです。
これに搭乗しての移動と、休息を目的としています。
この車いすは一人乗り用です。

■介助用をご使用の場合

この車いすは、介助者が操作する車いすです。この車いすは、バックサポート（背）の角度調整、座位の姿勢変換（昇降、旋回）等の機構がない標準形の介助用車いすです。また、スポーツ用、入浴用等の特殊な使用目的のものではありません。なお、購入時はこの標準形が適していても、特別な身体保持具などが必要になってきた場合など、標準形が使用に適さなくなることがあります。

安全に関するご注意

※ご使用になる前に必ずお読みください。

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

[表示マークの説明]

※正しい取扱いに関する必要事項を標示(シンボルマーク)で表しています。

 警告	取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。
 禁止	してはいけないことを示しています。
 必ず守る	必ずしなければならないことを示しています。

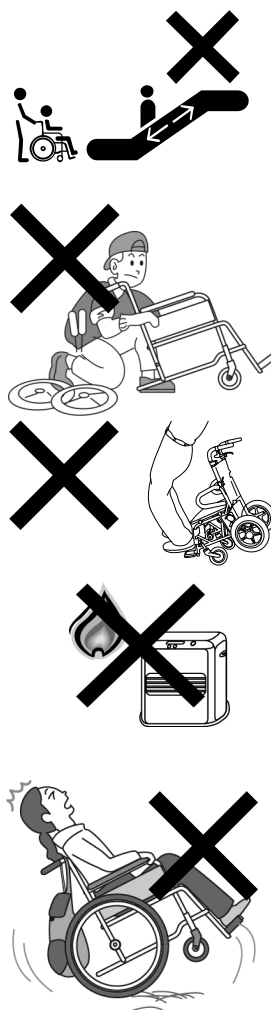


警告

取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。



- エスカレーターでは使用しないでください。
介助者がいる場合でも、転倒などにより重大な事故のおそれがあります。
- 勝手に改造・分解しないでください。
強度や耐久性が低下して危険です。また、事故になる恐れがありますので絶対に改造・分解しないでください。
故意にシートを切断する等の加工を絶対にしないでください。シートを破断したり、加工した状態でご使用されますとフレームが歪んだり、破断する原因となります。また、シート取付ネジが歪んだり、欠落すると事故の原因になります。
- 車いすに乗り降りの際は、決してステップ板の上に足を載せないでください。
絶対にステップ板の上に乗って車いすに乗り込んだり、降りられるときに立ち上がったらないでください。車いすごと転倒し危険です。
- 車いすを火気に近付けないでください。
シート部が燃えたり、熱くなりプラスチック等が変形したり、熱くなった金属部分でやけどするなど、危険です。
- ポケットには1kg以上の重いものを入れないでください。
過度の荷物はバランスを崩し危険です。また、押手に荷物を吊り下げますとバランスを崩し危険です。絶対に避けてください。

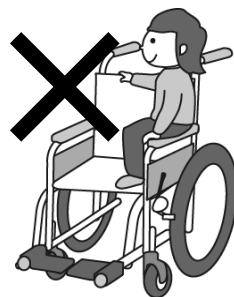




警告

取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。

- 座シート以外の部分に腰掛けしないでください。
- 介助者は、絶対に車いすに乗って介助しないでください。
- 複数の人数で乗らないでください。
この車いすは一人用です。二人以上で乗ると破損・事故の原因になります。
- 急な坂道(勾配4度以上)では使用しないでください。
- 押手に寄りかかったり、歩行補助として使用しないでください。



- 本説明書に記載されている調整箇所以外の調整を行わないでください。
事故の原因となります。調整が必要な場合はご購入の販売店にご相談ください。

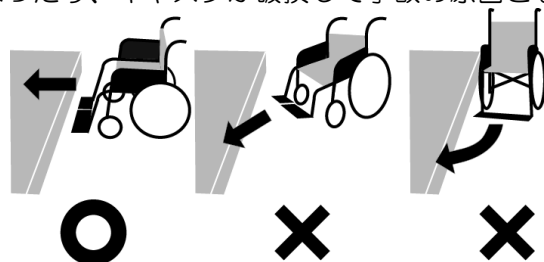
- 大きな段差を無理に乗り越えようとししないでください。
- 段差の前では一旦停止してティッピングレバーを利用して乗り越えてください。

決して勢いをつけて乗り越えないでください。大変危険です。
また、フレーム及びキャスト車輪等の損傷を受けます。



- 発進するときや段差を乗り越えるときには、キャストのタイヤが真っ直ぐになっていることを確認してから走行してください。

斜めに進入したり、キャストタイヤが斜めになった状態で発進すると段差を乗り越えられなくなったり、キャストが破損して事故の原因となる恐れがあり大変危険です。




禁止

- 車いすでの走行中は、身体を乗り出さないでください。
車いすが不安定になり危険です。



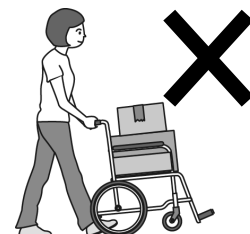
- 車いすに座ったまま強い前傾姿勢をとらないでください。

車いすに座ったまま前方の地面に置いてある物を拾うと、車いすごと転倒し大変危険です。



- 車いす以外の目的に使用しないでください。

物品運搬・踏み台などに使用しないでください。
車いすの上に立ち上がらないでください。



- この製品は、押手位置の切り替えにより2通りの用途にご利用いただけます。

- ・押手位置を前にすれば、歩行補助具としてご利用いただけます。
- ・押手位置を後にすれば、車いすとしてご利用いただけます。

押手位置と用途の組み合わせは必ず守り、それ以外の用途には使用しないでください。



警告

取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。

- この製品は、押手位置の切り替えにより2通りの用途にご利用いただけます。
 - ・押手位置を前にすれば、歩行補助具としてご利用いただけます。
 - ・押手位置を後にすれば、車いすとしてご利用いただけます。
 押手位置と用途の組み合わせは必ず守り、それ以外の用途には使用しないでください。

- 車いすを持ち上げる場合、駐車ブレーキをかけ固定されているパイプをしっかりと支えてください。

※肘掛けを持たないでください。

※脚部をもたないでください。

※背シートを持たないでください。これらの箇所を持ち上げると、脚部や肘掛け等が車いすから外れるなど、大変危険です。



ティッピングレバー

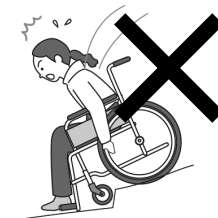
※利用者が乗ったまま持ち上げる場合は、シートベルトをしっかりと締め、3人以上でフレーム前下部とティッピングレバーを持ってしっかりと支えてください。利用者の身体の一部を持たないでください。



- 道路通行の際は、必ず右側通行してください。また、歩道を通行してください。

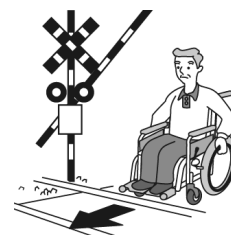
- 身体が前のめりにならないよう充分ご注意ください。

段差や凹凸などのある路面等を走行するときは、特にご注意ください。



- 踏み切りの横断やエレベーターの乗り降りの際は、車輪をレールに対して直角にして走行してください。

斜めの角度で進入するとレールの溝にはまって危険です。必ず介助者と一緒にわたってください。



- 坂道の上下りや段差のある場所では、必ず介助者に支えてもらって行ってください。

坂道を上るときは前向きで、下るときは後ろ向きで走行してください。

坂道を前向きで下ると乗っている人が前へずり落ちる、前へ倒れる、スピードが出やすいなど、非常に不安定になり危険です。また、介助者がバランスを失った時も危険です。

〔上り坂〕



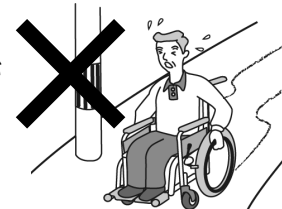
〔下り坂〕



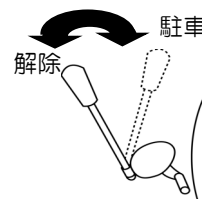
- 傾斜地・坂道での走行は特にご注意ください。

・傾斜地や坂道では、車いすが予想外の方向に進む、スピードが出やすいなど大変危険です。

・車いすからずり落ちる、前へ倒れるなど、非常に不安定になり危険です。



- 車いすに乗り降りする際、一時停止する際は、必ず駐車ブレーキをかけて車いすが固定されていることを確認してください。



必ず守る



警告

取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。



必ず守る

- 走行中は、足を必ずステップ板の上に乗せてください。
足を地面に付けたままで走行したり、ステップ板から外して走行すると、ステップ板と地面の間に足が巻き込まれてケガをする恐れがあり、危険です。
(足でこいで操作する場合は例外です。)
- 車いすの機能と操作をよく理解し、慣れた状態で介助を行ってください。
- 部品等が破損したり、損傷がある場合は、すぐに部品を交換してください。
- 次のような場所では走行を避けてください。
 - ・交通量の多い道路 ・砂利道 ・凹凸のある道
 - ・ぬかるみ ・雪道 ・凍結路 ・防止柵のない側溝や路肩付近など
 - ・崖 ・川土手 ・海岸防波堤上 ・その他危険な場所
- 次のような場合は走行を避けてください。
 - ・夜間 ・雨天 ・濃霧 ・強風 ・その他危険が予想される場合
 夜間は側溝や障害物などが発見しにくくなり危険です。
雨天は路面が滑りやすくなり危険です。
- 次のような場所では厳重な注意が必要です。
介助者が付き添い、利用者の身体を支えるなど注意しながらご使用ください。
 - ・狭い道 ・踏み切り ・横断歩道 ・駅のホーム ・エレベーター
 - ・車いす対応の動く歩道 ・車いす対応の福祉車両
 - ・その他危険が予想される場所
- 身体が安定しない方は、シートベルトの着用をお勧めします。
段差などで不意に衝撃などを受けると身体が投げ出されることがあり危険です。また、シートベルトを外したまま移動するとベルトが車輪にからまるなど危険です。



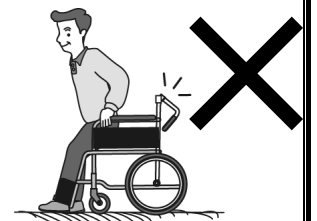
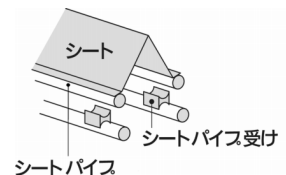
注意

取扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。



禁止

- シートパイプがシート受けに収まっている事を確認してご使用ください。
万が一、シート受けから浮いた状態でご使用されますと、フレームが歪んだり、故障の原因となり事故につながる恐れがあります。
- 車いすを投げたり落したり、衝撃を加えないでください。
フレームが歪んだり、破損の原因となります。
- 背折れ部、ブレーキなどの操作レバー荷物などを掛けないでください。
- 小さな子供に使用させたり遊ばせたりしないでください。
- 小さな子供に使用させたり遊ばせたりしないでください
- 背もたれを背折れしたまま使用しないでください。
後方へ転倒したり、背折れ金具で怪我をするなど大変危険です。
- 急発進、急停車、急な方向転換をしないでください。

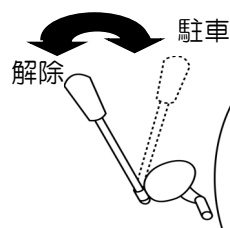


⚠ 注意

取扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。

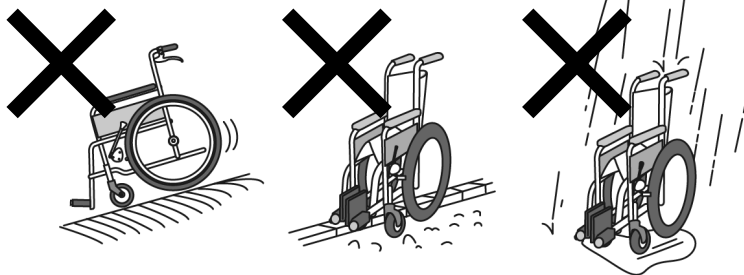
● 駐車ブレーキのレバーは作動方向以外に力を加えないでください。

また、必要以上に力を加えないでください。ブレーキが変形・破損する恐れがあります。



● 下記のようなところに車いすや部品を放置しないでください。

- ・ 車道に近いところ
- ・ 路面に段差や凸凹のあるところ
- ・ 海沿いの屋外(潮風の当たるところ)
- ・ ほこりの多い場所
- ・ 非常口、消火器、消火栓の前
- ・ 直射日光の当たる場所（車内も含む）
- ・ ストープなど火気を使用し高温になる場所
- ・ 子供がいたずらをする恐れのある場所
- ・ 人通りのあるところ
- ・ 湿気の多いところ
- ・ 雨、風のあたる場所
- ・ 坂道
- ・ 暑い日や寒い日の戸外



⚠ 注意

取扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。

● ご使用前には各部を点検してください。

車いすは“動くもの”ですから、長時間のご使用等により劣化が生じます。ご使用前の点検を励行し、異常が見つかったら直ちにご使用を中止してください。

● 安定した姿勢で座ってください。

座面深くに座ってください。左右にかたよらずに座ってください。また、介助者はご利用者が安定した姿勢で座っていることを確認してください。

● 回転している車輪に指を挟み込まないように注意してください。

● 車いすにバリなどがないかを確認してください。

衝突等により金属・樹脂部にバリ（突起）などが発生することがあります。ケガの原因となりますので、充分ご注意ください。

● 認知症の方がご使用される場合は、必ず介助者が付き添ってください。

車いすのシート、部品等を飲み込むことや一度かけた駐車ブレーキを不意に解除されることがありますので、充分ご注意ください。

● 駐車ブレーキは必ず手で操作してください。

足などで操作するとブレーキが破損する恐れがあります。



- 介助者は、利用者が車いすに安全に座れていることを確認してから操作してください。

搭乗者の身体の一部または衣服がタイヤ、スポーク、キャスト及び地面、建物、通行者に触れたり、はさまったりしないようご注意ください。

- 靴を履かずに足をステップ板に載せてご使用いただく場合は充分ご注意ください。

壁や柱で足にケガをしたり、足がステップ板から落ちて骨折するなど、大変危険です。

- 車いすの乗り降りや移乗など車いすが不安定になりやすいときには、必ず2名以上の介助者が付き添ってください。

- 最大体重を守ってご使用ください。

車いすに表示されている「使用者最大体重」は、積載物も含んだ重さです。

- ご利用者の心身の状況、症状を充分考慮し、適切な介助を行ってください。



なお、この取扱説明書は、仕様変更等によりイラストや内容が一部実車と異なる場合があります。
※以上の注意点以外であっても、無理な使用はおやめください。事故の原因になります。



SG マーク制度について

※弊社では、認定を受けた全ての商品にSGマークを貼付しています。

SGマーク制度は、SGマーク付製品の欠陥により発生した人身事故に対する賠償制度です。
事故原因や被害の程度に応じて、製品安全協会が賠償措置を実施いたします。

（ただし、消費者側の一方的な過失、もしくは誤使用に基づくような場合は除きます。）

※本品は車いすとしてのSGマーク認定製品です。歩行補助車としてのSGマーク認定製品ではございません。

また、SGマーク貼り付けは改造・特注仕様を行っていない標準仕様で認定を受けております。
標準仕様以外で弊社から出荷する場合は、SGマークを除いた状態での出荷になります。

ご確認ください

飛行機にご搭乗される場合

お客様の車いすをご旅行先へ持っていかれる場合は、事前に利用
予定航空会社又は旅行代理店にご相談ください。



事前確認なしに空港へ行きますと、航空会社の確認業務に時間がかかり、ご希望の便に間に合わなかったり、せっかくの旅行を取りやめなくてはならなくなったりします。

特に六輪車、リクライニング車などガススプリング（ガスダンパー）を使用している車いすは飛行機への搭載可否の判断に日数を要する場合があります。また、電動車いすや電動ユニット装着車いす及び特殊車いすについてもご希望の便によっては貨物室のスペース確保が出来ない場合があります。はやめの手続きでスムーズなご旅行をお楽しみください。



製品の特徴

この商品は、自立歩行が可能な方の歩行機能を補う歩行器型車いすです。

- 押手位置を前にすれば、歩行補助具としてご利用いただけます。
- 押手位置を後にすれば、車いすとしてご利用いただけます。

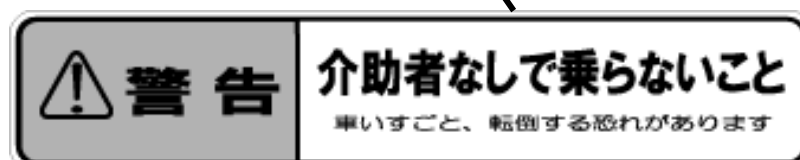
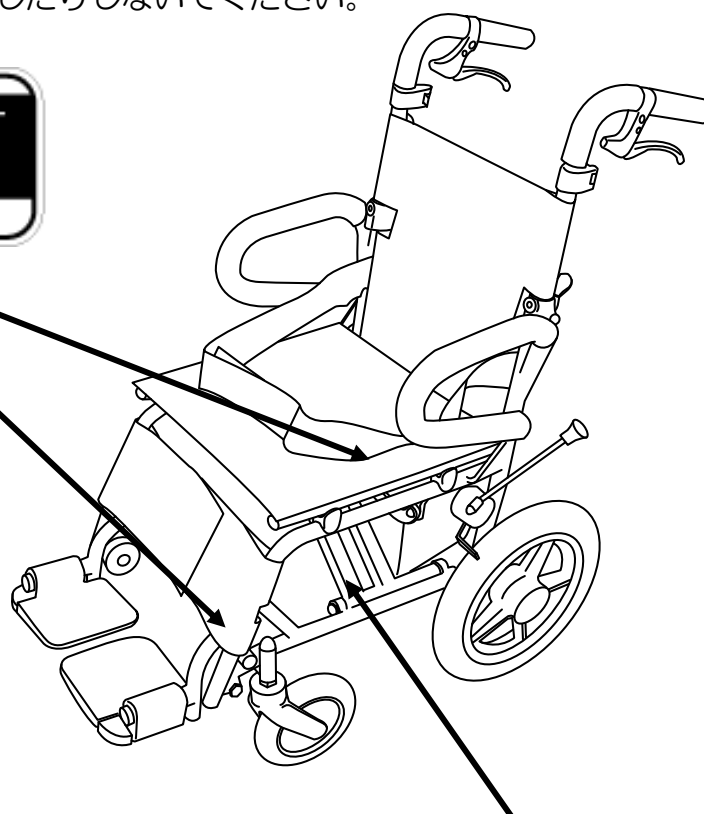
1. 同梱部品の確認

本製品には、以下の部品が同梱されていますので確認してください。

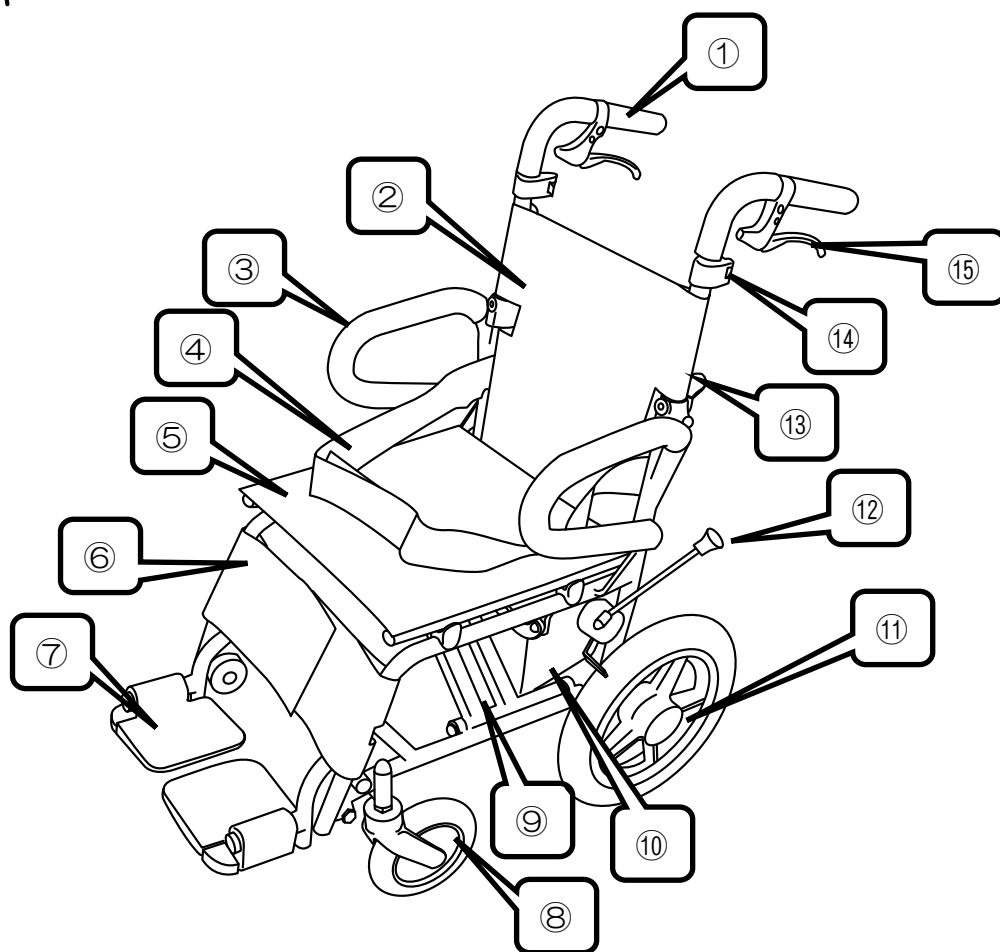
・取扱説明書	1 冊
・保証書はがき	1 枚
・専用バック	1 個

2. 安全ラベル

- ・ 取扱い上の重要な事項を記載した安全ラベルが貼ってあります。安全ラベルをすべて読んでからご使用ください。
- ・ ラベルを汚したり、はがしたりしないでください。



3.各部名称



<この製品は簡易車いすです。長時間のご使用には適しておりません。>

①押手（手押しハンドルグリップ）	介助者が車いすを移動させる際や歩行器として利用する際に握る部分です。
②背シート（バックサポート）	利用者が背部をもたれかけるところです。
③肘掛け（アームサポート）	肘を置いて身体を安定させます。
④シートベルト	車いすから身体がずり落ちないように腰を安定させるベルトです。
⑤座シート	座面のことです。中央に座ってください。
⑥足ベルト（レッグサポート）	足が後ろに落ちないように支えます。
⑦ステップ板（フットサポート）	足をのせる板です。
⑧前輪（キャスト）	自在に方向転換できる小車輪です。
⑨クロス金具	折りたたみする際に、このパイプが開閉します。
⑩座面下バック	小物を入れる場所です
⑪後輪	主輪です。回転する際に軸となります。
⑫駐車ブレーキ	駐車するときに使用します。
⑬背折れ金具	車いすを折りたたむ際、さらにコンパクトになります。
⑭クイックレバー	押手の方向を切り替えるときに使用するレバーです。
⑮介助ブレーキ	介助者がブレーキを制動するときに握る部分です。

4.お使いになる前に

車いすを使用する前に、安全のため各部の点検を行ってください。

＜装着品の確認＞

- ・背シート、座シートは、しっかりと固定されていますか？
- ・背折れ金具は、しっかりと固定されていますか？
- ・シートパイプは、しっかりと受けに収まっていますか？
- ・足ベルトは、しっかりと取付けられていますか？
- ・ステップ板は、しっかりと取付けられていますか？

＜後輪の確認＞

- ・タイヤにキズがありませんか？異物が刺さっていませんか？
- ・タイヤの溝が充分残っていますか？変形していませんか？

＜ブレーキの確認＞

- ・駐車ブレーキ、介助ブレーキが正しく作動しますか？
- ・ブレーキをかけた状態で後輪が回転しませんか？

＜肘掛け（アームサポート）＞

- ・キズや亀裂等はありませんか？

＜脚部（フットレッグサポート）＞

- ・スムーズに跳ね上げ、収納できますか？
- ・しっかりと固定できますか？
- ・ステップ板がパタパタしていませんか？
- ・キズや亀裂等はありませんか？

＜全体的に＞

- ・ガタつきはありませんか？
- ・まっすぐに走りますか？
- ・各部ボルトやナットが緩んでいませんか？
- ・ワイヤーが部品等に引っかかかっていませんか？

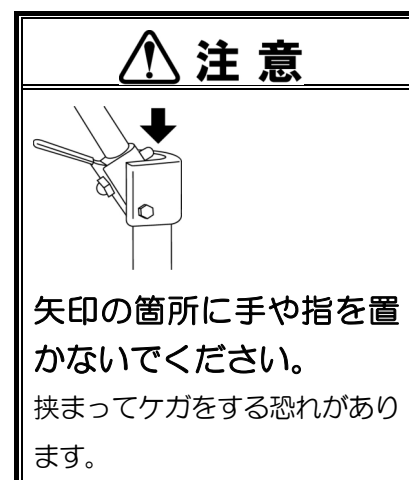
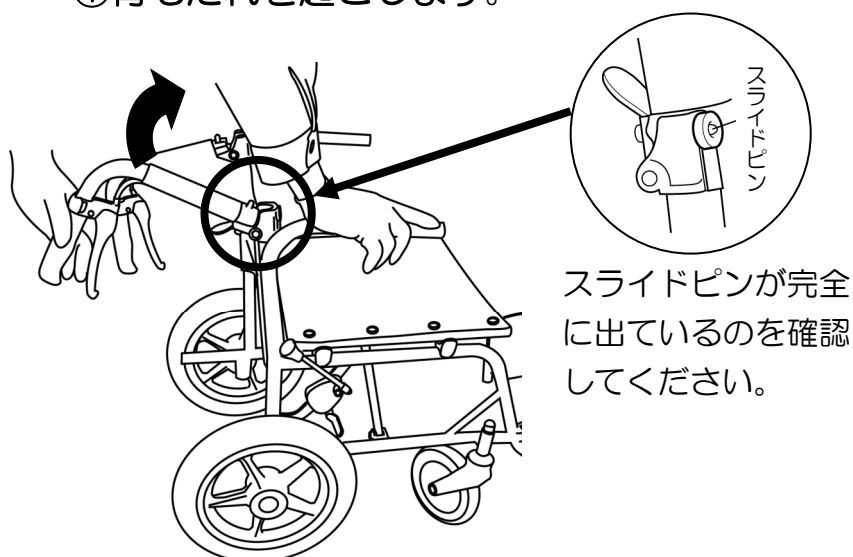
＜介助者へ＞

- 長期間の使用や使用頻度によっては、キャスト車輪、脚部、肘掛け等の劣化がすすむことがあります。使用前点検を励行してください。
異常がある場合は、使用を中止してください。
- 次のような場所では必ず介助者が付き添い、利用者の身体を支えるなど転倒防止に努めてください。
 - 急な坂道
 - 凹凸や段差のある場所
 - 踏み切りの横断、エレベーターの乗り降りなどの溝のある場所
 - その他危険が考えられる場所
- 車いすに載って介助しないでください。
- 利用者の身体の一部及び衣服が、タイヤに触れたり挟まったりしないよう注意してください。
- 利用者の身体の一部及び衣服が、建物、通行者及び地面に触れたり挟まったりしないように注意してください。
- 重い荷物を車いすに載せたり、押手に提げたりしないでください。

5.操作方法および使用方法

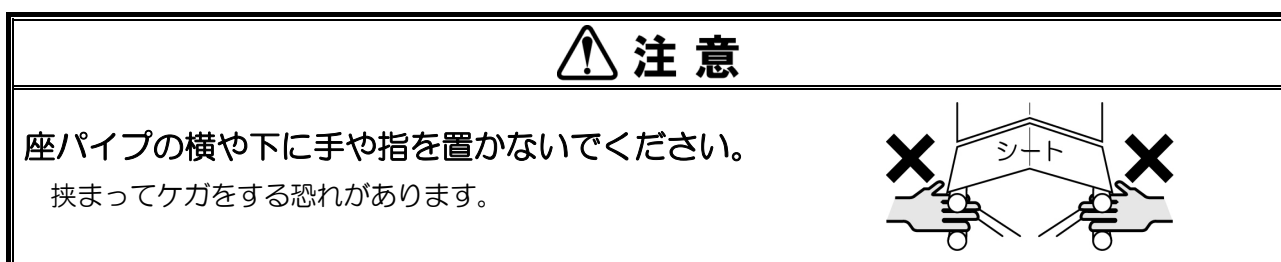
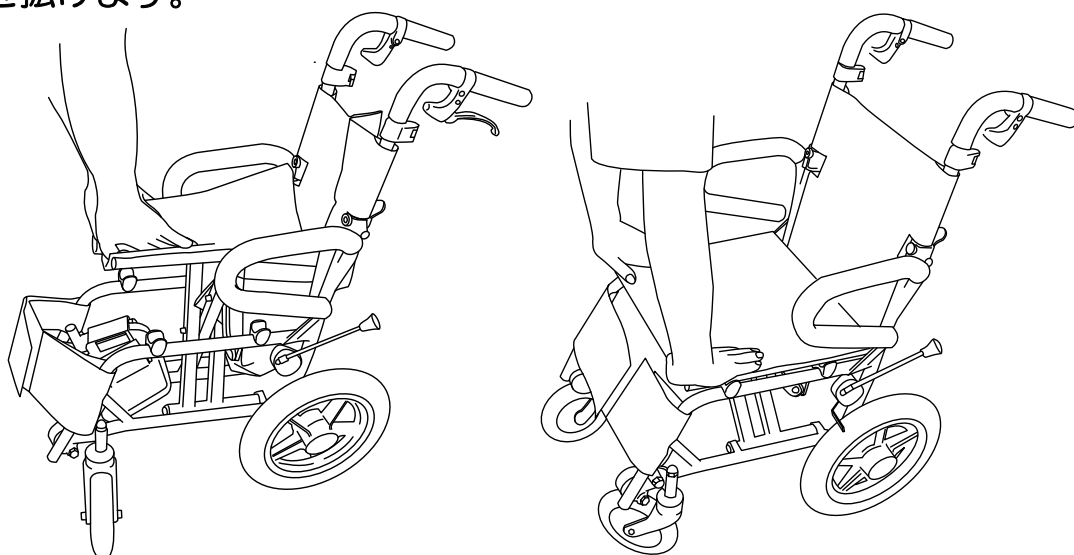
< 拡げ方 >

①背もたれを起こします。

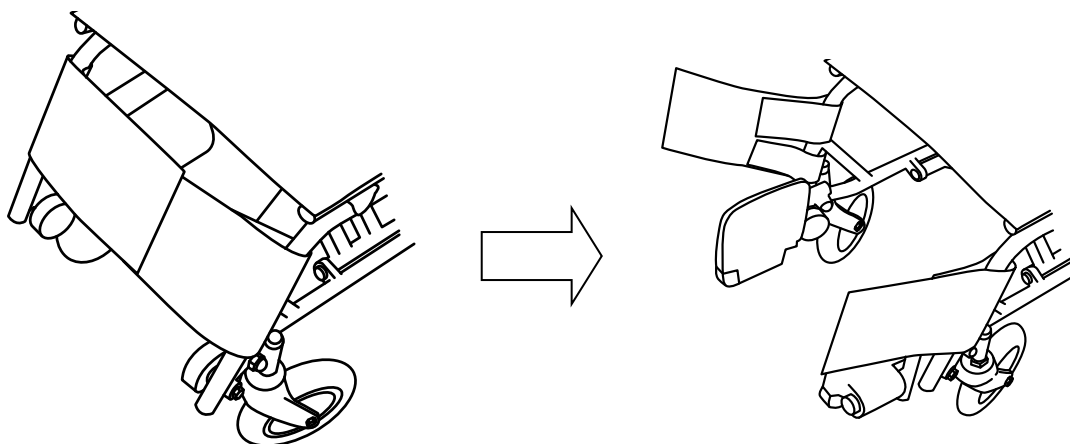


押手部分を持ち、矢印の方向へ“カチッ”という音がするまで持ち上げてください。
その際、片方の手で車いすが動かないように支えていてください。
(指や手をはさまないようにご注意ください。)

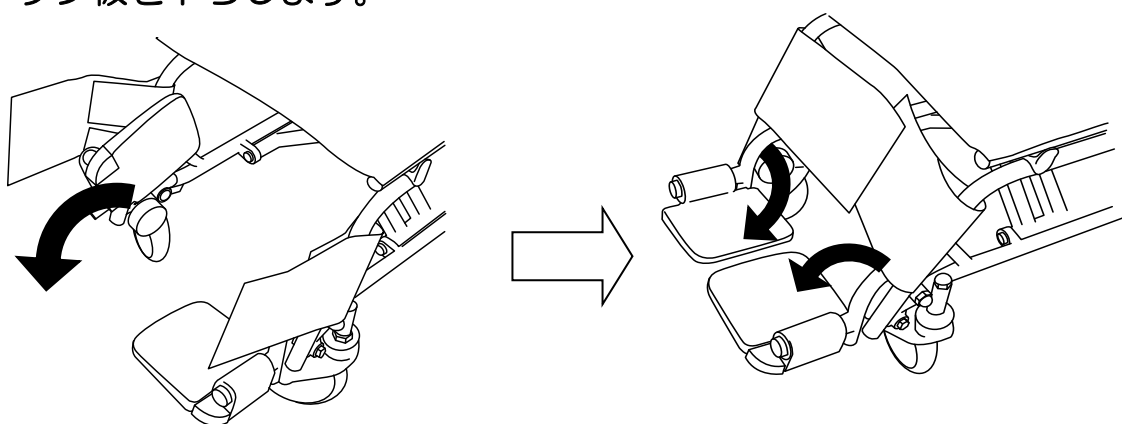
②座面を拡げます。



③足ベルトを左右に開きます。

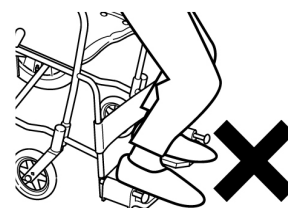


④ステップ板を下ろします。



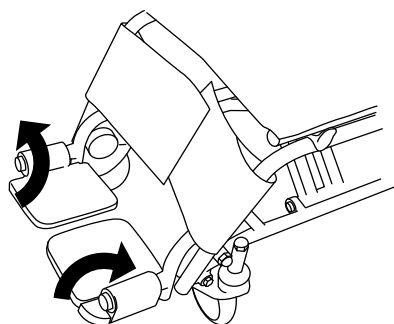
⚠ 警告

車いすから乗降する際、絶対にステップ板の上に乗らないで下さい。
車いすごと転倒し、大変危険です。



<たたみ方>

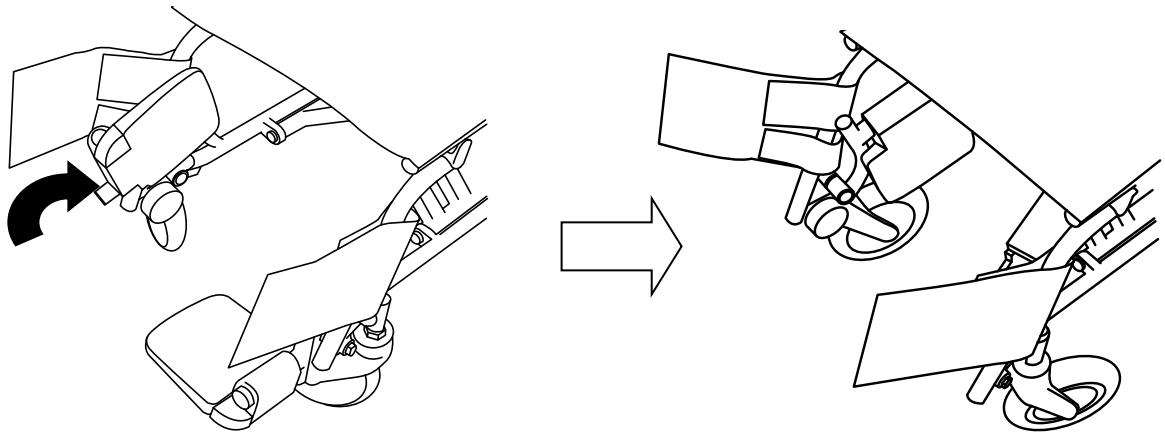
①ステップ板を跳ね上げます。



※乗り降りの際には必ず跳ね上げた状態にして下さい。

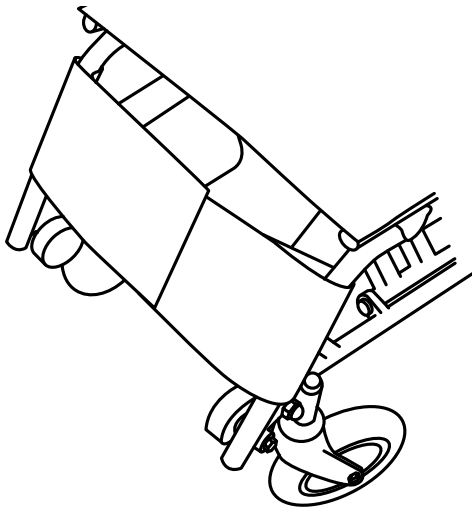
ステップ板の上に立つと車いすが起き上がり転倒する恐れがあります。ご注意下さい。

②脚部を跳ね上げます。

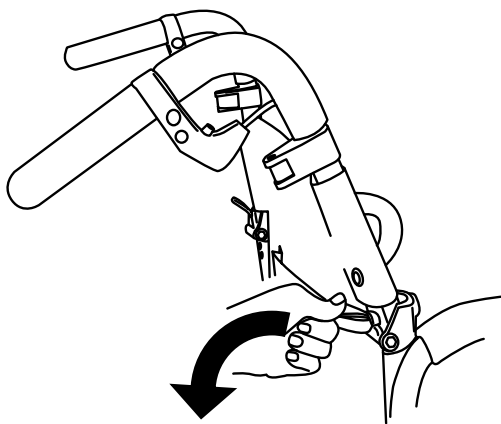


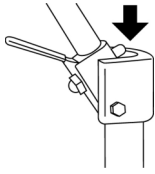
脚部を跳ね上げて、座シートの下に収めます。

③左右の足ベルトを面ファスナーで止めます。

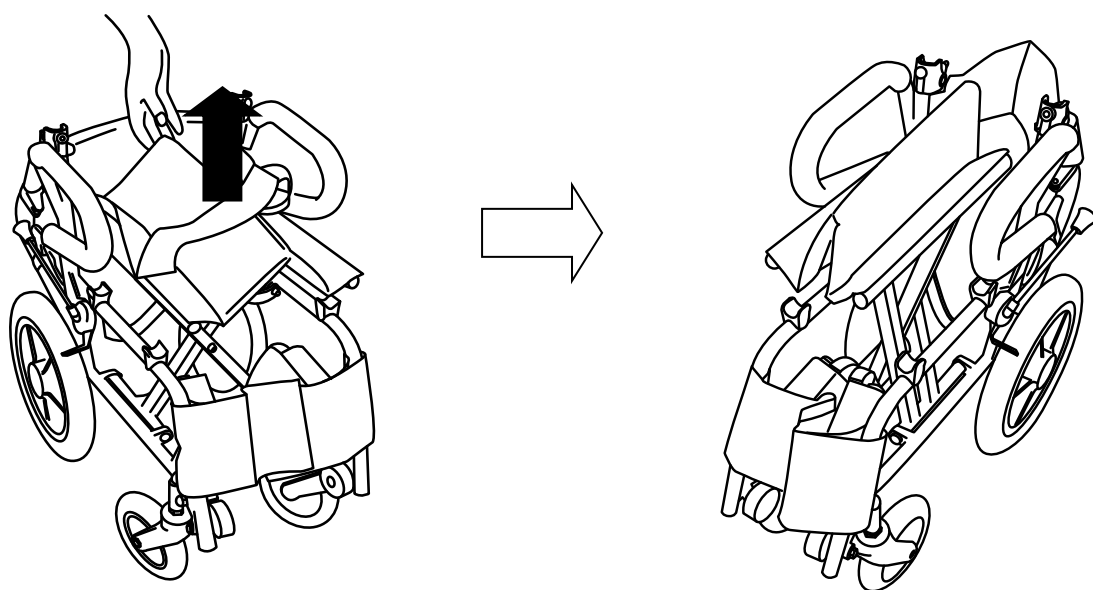


④背もたれを倒します。



	注 意
	
矢印の箇所に手や指を置かないでください。 挟まってケガをする恐れがあります。	

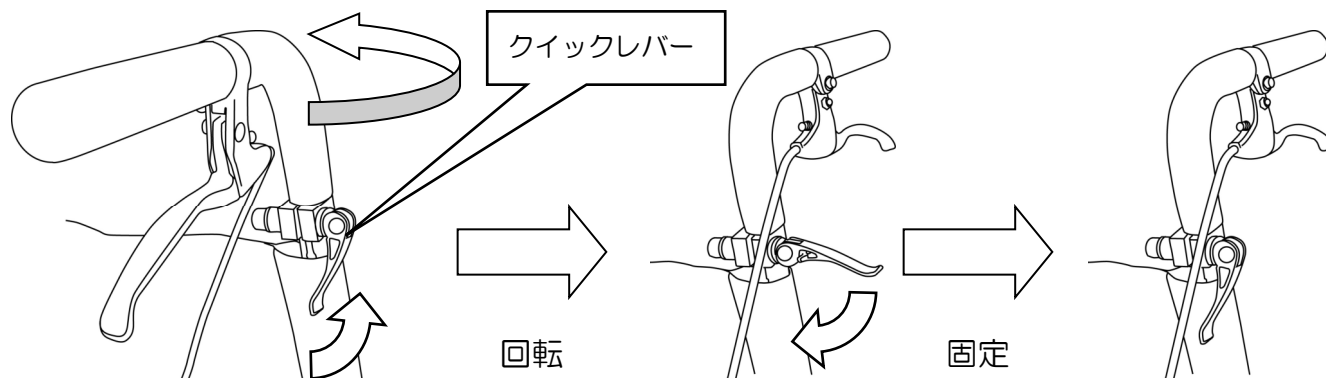
⑤車いすを折りたたみます。



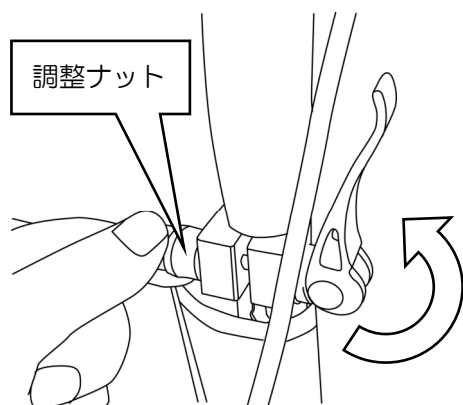
座シートを持ち上げます。

6. 押手の回転方法および固定方法

- 押手位置を前にすれば、歩行補助具としてご利用いただけます。
- 押手位置を後にすれば、車いすとしてご利用いただけます。



- クイックレバーを図のように起こし、押手を回転させ前（後）方に向けます。
- クイックレバーを図のように戻し、押手をしっかりと固定して下さい。押手を前方（座面側）に向けると、押手に体重を掛けて歩いても転倒しにくくなります。



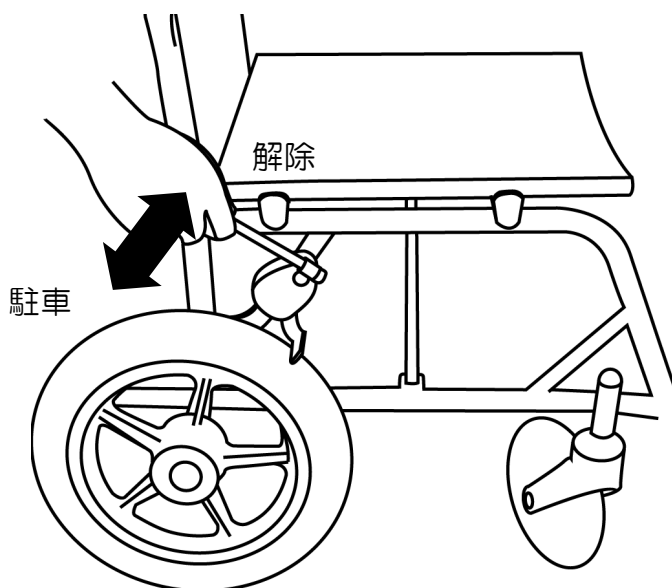
- レバーの締め付けが固くて戻せない、またレバーの締め付けが緩くてしっかりと固定できないときは、左図のようにレバーを起こし、調整ナットを回してレバーの締め付けを調整して下さい。
- 時計回しだと固く、反対だと緩くなります。

⚠ 注意

- 必ず押手がしっかりと固定されていることを確認してください。押手がしっかりと固定されていないと、思わぬ事故になる恐れがあります。
- 押手を回転させるとき、ブレーキワイヤーがレバーに引っかかったり、無理に曲がったりしていない事を確認してください。
- 押手は左右同じ向きで使用してください。別々の方向では使用しないでください。
- 押手を前方（座面側）に向けたままで車いすとして使用しないでください。

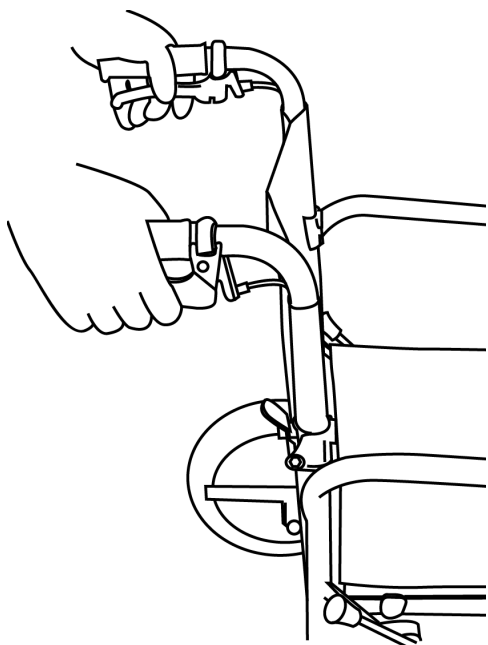
7.ブレーキの取扱い方法

<駐車ブレーキの取扱い方法>



ブレーキレバーを後方に引くとロック
されます。
ブレーキレバーを前方に戻すと解除
されます。

<介助ブレーキ・制動ブレーキの取扱い方法>



⚠ 注意

- 走行中や下り坂での減速ブレーキとしてご使用ください。
- レバーは介助者が必ず両側同時にかけてください。

⚠ 警告

- ブレーキの効き目が強すぎたり弱すぎるときは、すぐに販売店にご相談ください。
- ブレーキワイヤーは1年に1度、定期的に交換してください。
- ブレーキレバーは介助者の方が必ず両方同時に掛けてください。
- 坂道を下るときは後ろ向きで走行してください。
坂道を前向きで下ると乗っている人が前へずり落ちる、前へ倒れる、スピードが出やすいなど、非常に不安定になり危険です。また、介助者がバランスを失った時も危険です。



8.シートベルトの取扱い方法



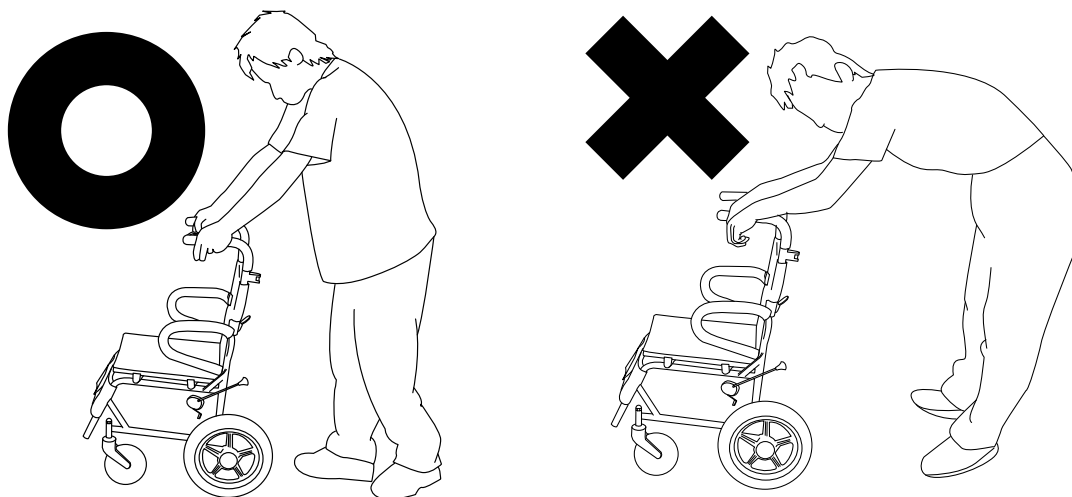
車いすに深く腰掛け、面ファスナーの接着部分を 10cm以上重ね合わせてしっかりととめてください。

⚠ 注意

- シートから落ちるおそれがあるので必ずシートベルトを使用してください。
転落事故の原因となります。
- 面ファスナーに糸くず・汚れなどがついたときは取り除くか、シートベルトを交換してください。
接着力が弱まり、事故の原因となります。
※面ファスナーの接着力が弱くなった場合、シートベルトの交換が必要です。

9.ご利用時の注意事項

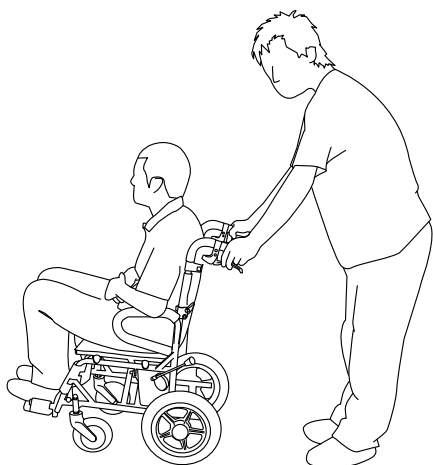
＜歩行器として利用するとき＞



⚠ 注意

- 歩行器として、ご利用いただく際には必ず押手をしっかりと握ってご利用ください。
押手をしっかりと握っていないと、思わぬ事故になる恐れがあります。
- 必ず両手で押手を握って使用してください。片手での使用は危険です。
- 坂道では上り、下りともにご使用いただけません。

<車いすとして利用するとき>



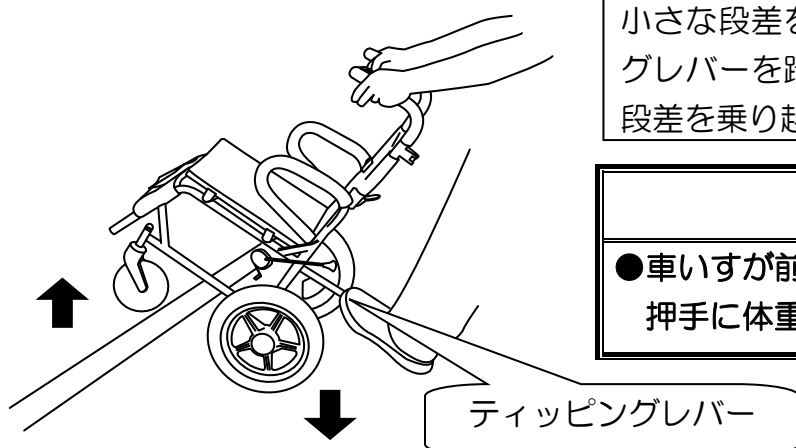
⚠ 注意

- 車いすとしてご利用いただく際には、必ずステップの上に足を乗せてご利用ください。
- 車いすとしてご利用いただく際には、必ず安全ベルトをしてください。



10. 段差乗り越え方法

<歩行器として利用するとき>



小さな段差を乗り越える際には、ティッピングレバーを踏んで、前輪キャスタを浮かせて段差を乗り越えてください。

⚠ 注意

- 車いすが前方に逃げることがあります。押手に体重をかけないでください。

<車いすとして利用するとき>



前輪キャスタを持ち上げて段差を乗り越えてください。または、後向きで後輪を持ち上げて段差を乗り越えてください。

⚠ 注意

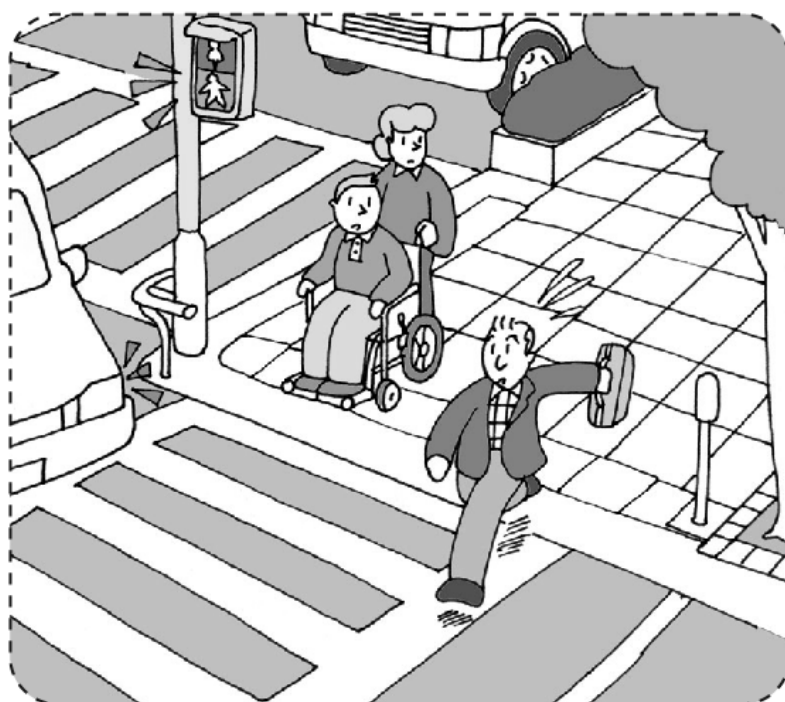
- 車いすとしてご利用いただく際には、必ずステップの上に足を乗せてご利用ください。
- 車いすとしてご利用いただく際には、必ず安全ベルトをしてください。

11.車いすの主な乗り方

⚠ 警告

- 下り坂は加速がつき危険です。いつでもブレーキがかけられるよう慎重に。
- いきなり公道に出るのは危険です。屋内や庭など安全な場所で練習しましょう。
- 車道はできるだけ通らず、歩道や十分な幅のある路側帯を通りましょう。

車いすは歩行者として取り扱われます。
歩行者としての交通ルールを守りましょう。



- 「自転車及び歩行者専用」、「歩行者専用」のマークのある歩行者専用道路も通ることができます。
- 信号機のある場所では、「青」が点滅中に横断するのは危険です。「青」信号を待ちましょう。

★焦らずゆとりを持った横断、走行を心掛けましょう。

⚠ 注意

- 車いすは乗り物ですから、定期点検が必要です。
長期の使用によって劣化が生じます。異常が発生した場合は、直ちに使用を中止してください。

★転倒防止に充分配慮してください。

(転倒防止金具(オプション)をご利用いただく、車いすの後方を支えるなどの方法があります。)

乗車・降車・移乗の際には不安定になりやすいため、転倒しやすくなります。

特に3 cm以上の厚みがあるクッションを引く場合は、転倒しやすくなる場合があります。転倒しないよう、

- ・転倒防止金具(オプション) をご利用いただく
- ・車いすの後方を人が支える
- ・車いすの後方をベッドや壁に押し付ける などの方法で充分配慮してください。

★移乗

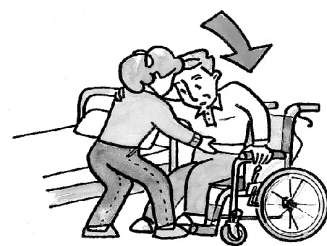
車いすに乗る方を介助者がベッドなどから移す方法です。双方にとって安全で負担の少ないことが重要です。



介助者が片足を相手の膝の間に差し込んで、腰を支えながら立ち上がさせます。



介助者の膝で相手を支えながら、車いすの方へお尻を向けます。



ゆっくりと腰を下ろしてもらいます。

※「いち、にの、さん」と声をかけながらおたがいに協力しましょう。

★外出

車いすの安全な使い方は、“ゆっくり”“確実に”と“シートベルト着用”が基本です。

[坂道]



<上り坂>

押す人は身体を少し前に倒して、押し戻されないよう、一歩ずつしっかりと押します。



<下り坂>

坂を下るときはブレーキを軽く使いながら、後ろ向きに一歩ずつ下ります。また、シートベルトを必ずご利用ください。

[段差のある場所]



<上がるとき>

ティップingleバーを踏んで前輪を上げて進み、続いて後輪を押上げます。

<下るとき>

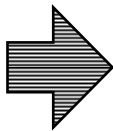
後ろ向きでまず後輪をおろし、ティップingleバーを踏んで前輪を上げたまま後進し、ゆっくりと下ろします。
※階段では車いす全体を持ち上げてください。

[溝越え] ※予め溝の大きさを確認し安全に渡れる場合のみ実施してください。



①「キャスト上げ」の要領でティップingleバーを踏んで押手を押し下げ、キャストを上げます。

※この時、必ず声をかけてから行ないます。



②キャストを上げたまま前に進み、溝を越えた向こう側にキャストをゆっくり下ろします。



③次に後輪を持ち上げて前に進み、溝を完全に越えたところでゆっくりと後輪を下ろします。

12.お手入れの方法

★金属部分（フレーム、車輪等）

フレームなどの金属部は、乾いた布でよく汚れを落として、自動車用のワックスをかけ、乾いた布で拭き取ってください。スポークの通常のお手入れは、水を用いずに汚れを落とす程度で充分です。凹凸のある部分の汚れ、頑固にこびり着いた汚れは、市販の中性洗剤を用いてください。

★樹脂（プラスチック）部

樹脂部品には、市販の中性洗剤をご使用ください。

★クッション、シート類

シート部分をぬるま湯で拭き、きれいな水で仕上げ拭きを行い、乾かしてください。市販されている防水加工用のスプレーなどを用いての防水加工をお勧めします。防水加工を行う場合は、ご使用になる防水加工用商品の説明書をよくお読みください。

＜汚れがひどいとき＞

- 汚れがとれにくい場合は、中性洗剤を染み込ませた布で汚れを拭き取り、その後、水で濡らした布で洗剤を拭き取ってください。
- しみは、スポンジまたは柔らかいブラシを用いて取り除いてください。
- 洗う場合は、ぬるま湯で手洗いしてください。洗濯機、乾燥機の使用はお避けください。
- クッション表面に面ファスナー（オス）が接触しないようにしてください。（クッション生地のはつれ、けばだちの原因となります。）

⚠ 注意

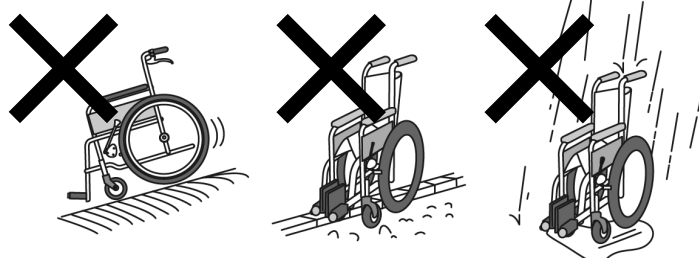
- 熱湯やオゾンで洗淨しないでください。
故障・変質・変色の原因となります。
- 中性洗剤以外を使用しないで下さい。
中性洗剤以外を使用した場合変質・変色・傷みの原因となります。
- シンナーやベンジンなどの揮発性のものは使用しないでください。
変質・変色・傷みの原因となります。
- たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください。
傷みの原因となります。

13.保管についてのお願い

車いすは、お手入れ後、安全な場所に保管してください。

⚠ 注意

- 下記のようなところに車いすや部品を放置しないでください。
 - ・車道に近いところ
 - ・路面に段差や凸凹のあるところ
 - ・海沿いの屋外（潮風の当たるところ）
 - ・非常口、消火器、消火栓の前
 - ・ストーブなど火気を使用し高温になる場所
 - ・子供がいたずらをする恐れのある場所
 - ・人通りのあるところ
 - ・湿気の多いところ
 - ・雨、風のあたる場所
 - ・直射日光の当たる場所（車内も含む）
 - ・坂道
 - ・暑い日や寒い日の戸外
 - ・ほこりの多い場所



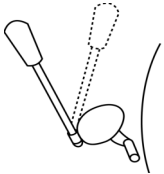
14.車いすの保守・点検

1 ヶ月に一度は安全点検を行ってください!!

★タイヤの溝は充分認識できますか？

タイヤの減りが激しいものはパンクの原因になったり走行性やブレーキの効きが悪くなるので交換が必要です。また、タイヤやキャストのひび割れにもご注意ください。

★駐車ブレーキはしっかり効きますか？

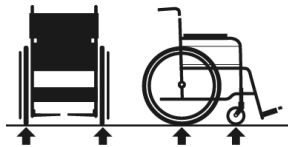


ブレーキ本体のガタなどがないかご確認ください。もし、異常がございましたら、直ちにご使用をお止め頂き、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

★変な音がしませんか？

変な音がする場合、どこでその音が発生しているかをご確認してください。ブレーキワイヤーが車輪に擦れている、ベアリング部の油分が不足しているなどの原因が考えられます。お買い上げの販売店までご連絡ください。

★四点接地していますか？



前輪二輪と後輪二輪が接地しているかご確認ください。
四点接地していない場合、フレームの歪みやネジの緩みが考えられます。
直ちにお買い上げの販売店までご連絡ください。

★まっすぐ進みますか？

平地で車いすを左右均等な力で押してください。自然に曲ってしまう場合、どこかが歪んでいる可能性があります。お買い上げの販売店までご連絡ください。



★シートに破損やたるみ、傷みはありませんか？

湿気の影響を受けたり長時間続けてご使用になるとシートに破損・たるみが発生します。座り心地を損なわない姿勢が保ちにくくなりますので、たるみ・破損が著しい場合は交換をおすすめします。

★ネジの緩みはありませんか？

ガタがある場合は、ネジの緩みや脱落が考えられます。直ちにご使用を中止し、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

異常が見つかったらご使用を中止してください。

★きちんと折りたためますか？



折りたたみに異常がある場合、ネジの緩みや可動部分の油切れが考えられます。お買い上げの販売店までご連絡ください。

★車輪やキャストはしっかり固定されていますか？

車輪を留めているボルト、キャストを留めているボルトは緩んでいませんか？緩んでいると使用中突然車輪やキャストが外れて転倒するなど大変危険です。お買い上げの販売店までご連絡ください。

★ハンドリムはしっかり固定されていますか？

ハンドリムにガタがある場合、取り付けネジの緩みが考えられます。お買い上げの販売店までご連絡ください。

★介助ブレーキはしっかり効きますか？

介助ブレーキがスムーズに作動すること、しっかりと効くことをご確認ください。異常がある場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

★ブレーキワイヤーは切れていませんか？

ブレーキワイヤーは切れていませんか？ブレーキが効かなかったり、事故の原因になります。安全のため、1年に1度はワイヤーを交換してください。

★洗浄の際には、水、お湯または中性洗剤をご使用ください。

- ・ 中性洗剤以外の洗剤を使用しないでください。
- ・ シンナーやベンジン・アルコールなどの揮発性のものは使用しないでください。
- ・ たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください。
- ・ オゾン消毒はしないでください。ゴム材料の収縮などの原因になります。
変質・変色・傷み・割れの原因となります。

⚠ 注意

- スパナやドライバーなどの工具の使用にて締め付ける場合、薄手の手袋をご使用ください。
- 異常が見つかったら、直ちにご使用を中止してください。

15.仕 様

＜各部寸法＞・・・・・・・・・・・・・・・・・・記載の寸法や重量は設計値であり、実際の車体とは多少誤差がある場合があります。

		寸法表
品名・名称		A Y 7
座 幅	(mm)	350
前座高	(mm)	430
後座高	(mm)	405
レック長さ	(mm)	270
シート奥行	(mm)	350
背もたれ高	(mm)	340
肘掛け高	(mm)	210
全高	(mm)	870
折りたたみ	(mm)	620
全幅	(mm)	480
折りたたみ	(mm)	300
全長	(mm)	870
折りたたみ	(mm)	640
重量	(kg)	9.9

＜各部仕様＞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

		標準仕様・規格
品名・名称		A Y 7
フレーム		標準式フレーム 立体式クロス
折りたたみ方式		背折れ式左右折りたたみ
後輪		12 インチ ハイポリマー ノーマル式 樹脂ホイール
タイヤ		12 ¹ / ₂ ×2 ¹ / ₄ ハイポリマータイヤ
チューブ		—
ハンドリム		—
前輪		6 インチ ニューソフト黒 ナット固定式樹脂ヨーク
キャスト車輪		6 インチ ニューソフト黒車輪
ヨーク		6 インチ ナット固定式ヨーク
背シート		調整なしシート (プラム or グリーンストライプ or 花柄オレンジ)
座シート		調整なしシート (プラム or グリーンストライプ or 花柄オレンジ)
シートベルト		面ファスナー式 黒色
肘掛け		固定式
肘当て		スポンジチューブ
脚部		跳ね上げ&折りたたみ式
ステップセット		—
ステップ板		A Y 7 専用 黒色
足ベルト		中割れ式 (プラム or グリーンストライプ or オレンジ花柄)
駐車ブレーキ		I.ミニエグgl
制動ブレーキ		タッグル連動式
ハンドグリップ		ビニルチューブ
SG マーク		あり [手動車いす (使用者最大体重 75kg)]
JIS マーク		なし

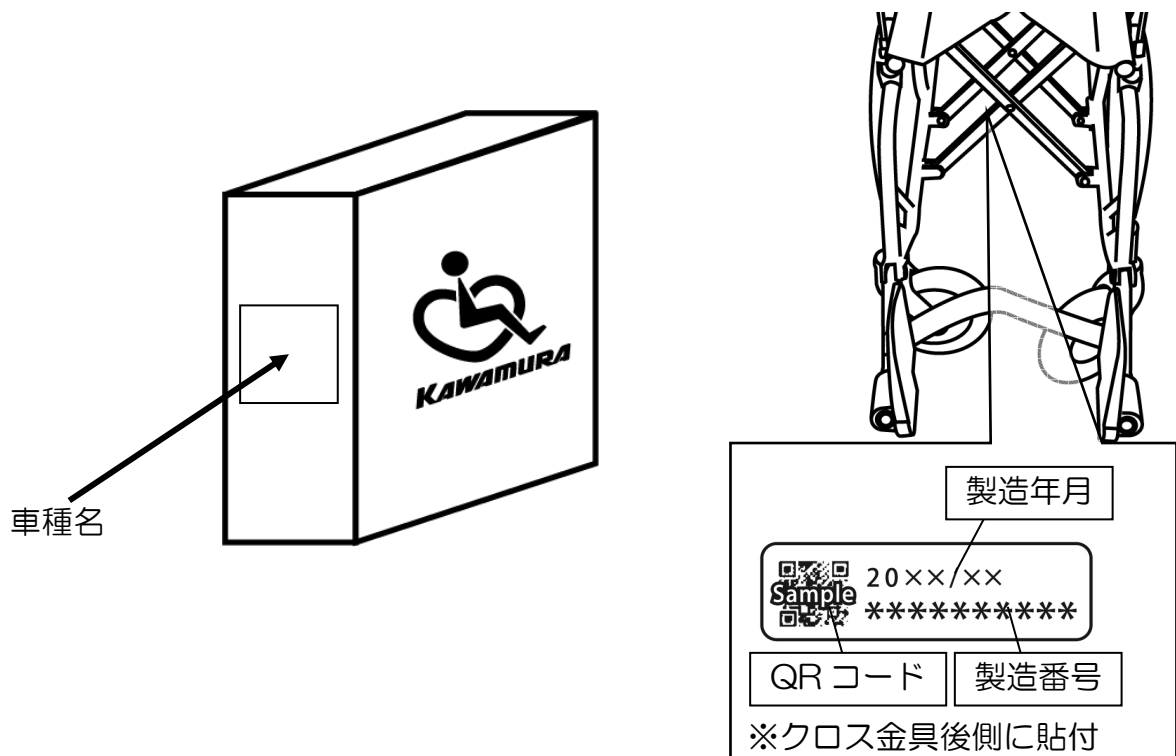
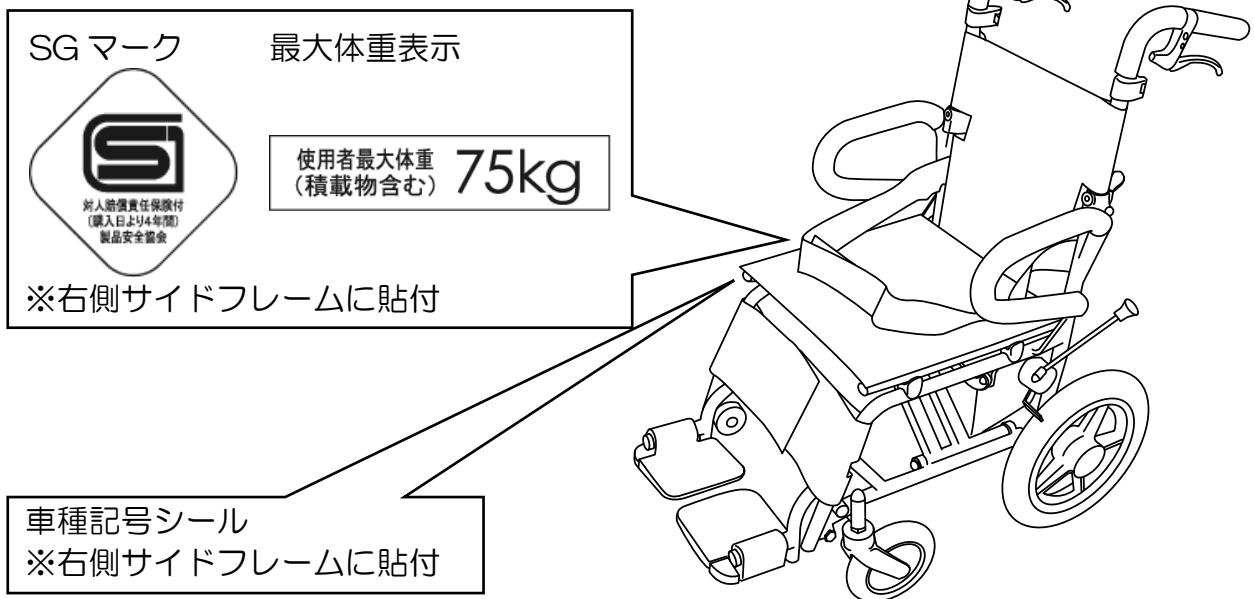
*この車いすの後輪の車軸には M12 のねじを使用しております。また、シート・バックサポート部、背折れ金具部、には十字穴付きタッピングねじを使用しております。

16.製品記録

アフターサービスなどを的確に受けるため、車種・製造年月を記録しておいてください。

車 種	
製 造 月	年 月

<シール貼付位置>



17.保証

弊社の定める保証とは、正常な使用状態において故障が生じた場合に限り、無償にて修理を行うことをお約束するものです。

★保証書

この商品には保証書を別途添付しております。

返送用登録はがきに所定の事項を記入のうえ、商品購入後 1 ヶ月以内に弊社へご返送いただきご登録ください。

※ご登録がない場合は保証対象外となりますのでご注意ください。

★保証期間

お買い上げ日より 1 年間です。(消耗部品は含みません。)

★保証期間後

保証期間後はお買い上げの販売店にご相談ください。修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

★消耗部品

- | | | | |
|--------|----------|-------|-------------|
| ・キャスト輪 | ・ノーパンク車輪 | ・シート類 | ・バンドブレーキカバー |
| ・板ばね | ・ワイヤー | | |

★保証の適用除外となる場合

- (a) ご使用による消耗および取扱不注意による破損
例) タイヤの磨耗およびパンク、ワイヤー、シート、ステップ板の破損等
- (b) 地震、台風、水害などの天災および事故、火災による焼失・破損
- (c) お取扱の不注意、操作未熟ならびに故意または過失など誤って使用されたことによる破損
- (d) 保全上の不備および弊社以外で行った修理や改造等による破損
- (e) 弊社が指定する純正部品以外のパーツ等の使用により発生した破損
- (f) 一般に車いすが走行しない場所、または特殊な状態での使用による破損
- (g) 製品本来の使用目的にそぐわない使用による故障および破損
- (h) 取扱説明書に従わずに使用して生じた故障および破損
- (i) 取扱説明書に禁じられている使用方法によって生じた故障
- (j) ご購入後 1 ヶ月以内に返送用登録はがきをご返送いただいていない場合
- (k) 日本国外でご使用の場合

★修理のご依頼

異常がある場合は、ご使用を中止しお買い上げの販売店にご依頼ください。

★本製品を他人に譲る場合

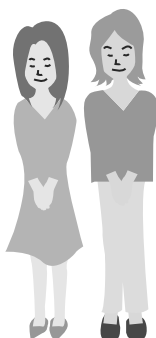
この製品を他の方にお譲りになる時は、必ず本書もあわせてお渡してください。

★一度使用したものは、原則として製品のお取り替えはできません。

地球の環境保護のため、廃棄するときはそのまま放置しないで各自治体の取り決めにしたがってください。

[illegible]

Handwriting practice lines consisting of 10 sets of three horizontal lines (top, middle, and bottom lines) for letter formation.



カワムラサイクル

■本社	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2800
■東京サービスセンター	〒110-0013	東京都台東区入谷 1-8-3	TEL03-3874-3511
■名古屋サービスセンター	〒487-0027	愛知県春日井市松本町 1-3-11	TEL0568-52-4800
■本店サービスセンター	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2800
■福岡サービスセンター	〒819-0055	福岡市西区生の松原 1-18-3	TEL092-882-4722
■神戸工場 ■神戸第二工場 ■いなみの工場			

本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上の為に、一部予告なく変更することがあります。

修理・お手入れ・お取扱いなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、上記へ。